頼山陽
【らいさんよう】

(1780-1832) 江戸後期の儒学者・歴史家・漢詩人・書家。名は襄 (のぼる)、通称は久太郎、別号を三十六峰外史。春水の長男。江戸に出て尾藤二洲に学ぶも、性豪放にして遊蕩に日を送り、自邸内に監禁。のち上京し　峠餾悄峪鎧膺緻製茵廚魅弔漾　特呂鰺稽髻∧舷曜狼劼噺鬚錣蝓△垢阿譴浸輅犬簸颪魄笋靴拭　修涼　崙　楹飴法廚亘詼　　砲　韻詢鮖亡僂紡腓　扮洞舛鰺燭┐拭Ｂ召肪　崙　楡　　廖崙　楹敝棔廖峪獲杙邇筺廚覆鼻

- 幕末辞典 -